



兵庫県肝疾患専門医療機関

編集・発行 情報委員会
神戸朝日病院

住所：神戸市長田区房王寺町3丁目5-25
電話：(078) 612-5151
URL: <http://www.kobe-asahi-hp.com>

愛と健康の

かけはし

2017 年 1 月発行

No. 59



西神戸の地域医療の更なる発展ために —2017年の年頭にあって—

キム ス リヤン
院長 金守良

●希望多い 2017 年を迎えるにあたって新年のご挨拶を述べたいと思います。

●去る 2016 年は、新しい副院長、外科部長の就任により、消化器疾患の内外科診療をはじめとする日常医療活動が大いに前進しました。

●又、昨年 7 月より“地域包括ケア病棟 (34 床)”として開設した 5 階病棟は円滑な運営が実現でき、住み慣れた地域で生活を全うしたいという患者様、地域のニーズ(要望)に全面的に対応してきました。

●一方、医療を取り巻く環境についても、ガードマンの 365 日 24 時間体制による警備活動、又 空調設備の更新などにより、院内全体が見違えるほどに風景が一変した年でもありました。

●さて、本年の医療活動の具体的内容として、まず第 1 に、専門病院としての肝臓・消化器疾患診療の充実です。C 型肝炎・B 型肝炎の薬物治療(主として経口剤)は副作用も殆どなく治療効果は革命的と言ってよいほど進歩しました。その進歩の内容を、適応患者様に分かり易く説明し、上記薬剤を投与していきます。

●肝臓癌の治療として定着したラジオ波焼灼療法、血管造影検査、肝動脈塞栓療法、動注化学療法を駆使し、予後向上を目指します。早期食道癌・胃癌、大腸癌・大腸ポリープの内視鏡診断・治療には、日本トップクラスの専門家(非常勤)に引き続きの協力を得ながら、そのレベルの向上に努めます。胆石治療においては、侵襲的でない腹腔鏡下胆嚢摘出術を日常的に行ってまいります。又、胃・肝臓・膵臓・大腸の消化器悪性腫瘍の外科手術に関しても、昨年以上精度の向上を目指します。

●第 2 は、急速に進む高齢化社会を反映して、増え続ける認知症に対しては、MRI、CT 等の画像診断を活用した特診体制を敷き、物忘れ外来は院長診(月・水・金・土午前診、火・水午後診、月・金夜間診)、李医師(木夜間診)、骨粗鬆症外来は音野医師(火午前診)が診療を行います。

●第 3 は、非常勤専門医による特診外来の充実です。循環器科(月午前診・木夜間診)、呼吸器科(木午後診)、皮膚科(月夜間診)、泌尿器科(金夜間診)、整形外科(木午後診/夜間診・土午前診)、神経内科(隔週木夜間診)、脳神経外科(隔週木夜間診)、心療内科(木夜間診)、糖尿病(水午後診)外来を本年も継続します。

●第 4 は、救急医療の充実です。急性腹症、吐血、肺炎、脳梗塞などの救急疾患に対する 2 次救急医療にも、医師・看護師を中心とした全医療スタッフが全力で診療にあたる構えです。

●以上、新年の抱負を述べましたが、患者様、地域の皆様のあたたかいご支援と同時に忌憚のないご意見をお願い申し上げます。それらを糧にして、昨年の前進と成果に慢心することなく、今年 1 年誠心誠意力を尽くし、患者様に、より充実した医療を提供する考えです。



内視鏡検査のススメ

キンスギ
副院長 金 秀 基



●日本での死因の第1位は“がん”です。その中でも消化管（胃や大腸）のがんが上位を占めています。現在、男性では胃癌が2位、大腸癌が3位、女性では大腸癌が1位、胃癌が2位となっており、消化管のがんはもっとも怖い病気のひとつと言えるでしょう。ただし、消化管がんを早い段階で発見することができれば、さまざまな方法により根治治療が可能です。

●では、消化管がんとはどのような病気なのでしょう？

消化管がんは、早期の段階ではほとんど症状がありません。このため、多くの早期胃癌や早期大腸癌は、自分では気づくことができません。がんがある程度大きくなって初めて、食欲の低下や、腹痛、胸やけ、便秘、下痢、下血などの症状が出現してきます。したがって、自覚症状が無くても、早期発見のためには積極的に検査を受けることが望まれます。そして、このような症状がある場合は、かならず病院で受診する必要があります。

●現在は、医療技術の進歩により、内視鏡検査で早期癌～進行癌まで発見し、診断できるだけでなく、早期癌については内視鏡で治療を行うことも可能な時代になりました。また、胃カメラでピロリ菌感染の診断を行い、ピロリ菌の除菌を行えば、胃癌の予防につながりますし、大腸内視鏡検査で大腸のポリープを切除すれば、大腸癌の予防につながることが証明されています。

最新の内視鏡システム

これまでも適宜設備更新を行ってきましたが、2017年3月から最新の内視鏡ビデオスコープシステム（オリンパス社「EVIS LUCERA ELITE」）を導入いたします。このシステムが入ることで、観察性能のさらなる向上と、検査を受けていただく患者様の苦痛軽減が期待されます。

専門医・熟練医による検査および治療

複数の内視鏡学会専門医あるいは、多くの経験を積んだ内視鏡医による検査を行っています。また、京都大学医学部附属病院の熟練医の内視鏡検査・治療のサポートもごさいます。

患者様に負担の少ない検査

内視鏡検査に対して「こわい」「しんどい」という印象をお持ちの患者様もおられると思います。当院では、ご希望の患者様に麻酔鎮静下の内視鏡検査を行うことにより、できるだけ検査時の苦痛を軽減できるように取り組んでいます。また、より患者様のご負担の少ない経鼻内視鏡検査（鼻から内視鏡を入れる）を受けていただくこともできます。

フレキシブルに予約可能な体制

当院では外来受診時だけでなく、お電話1本で簡単に内視鏡検査の予約ができます。お忙しい方には、胃カメラ・大腸内視鏡検査を同日に行うこともできますし、土曜日に検査を受けていただくことも可能です。また、女性医師による検査をご希望の場合にも対応させていただきます。

●どんな病気にも言えることですが、消化管がんについても早期発見・早期治療が何よりも重要です。何らかの消化器症状がおありの方はもちろんのこと、症状が無い方でも40歳を過ぎたらぜひ内視鏡検査を受けられることをお勧めいたします。当院での内視鏡検査が、みなさまのご健康のお役に立てることを心より願っております。





神戸市看護のとしび賞は、看護業務に功績のあった神戸市内の看護職員を表彰し、看護業務及び地域医療の向上発展を図ることを目的として平成5年度から実施されているものです。

助産師、看護師または准看護師免許保持者で、神戸市内の医療施設でこれらの業務に従事され現在勤務されている医療施設で、ある一定の期間、勤続されていることが選考基準となります。

当院では、平成20年、21年、23年、26年に続き、5人目の受賞です。

受賞者コメント

看護部長 竹内 悦子

この度、神戸市より、まだまだ未熟な私に栄えある「としび賞」をいただきました。これもひとえに神戸朝日病院の皆様のおかげと深く感謝いたしております。

私は、昭和57年に看護師の資格をとり小児科からスタートしました。その頃はまだ看護師のワークバランスが今ほど整っておらず、私の勤務していた大学病院では、結婚したら退職するのが当たり前でした。長崎から関西という未知の地に嫁ぎ、主婦業に明け暮れておりましたが、子供の成長と共に看護師として復帰しました。当院に面接に来た時、当時の看護部長に「どうしてこんなにブランクを作ったの？アウトサイダーだね」と言われましたが「私があなたを鍛えなおす。一緒に頑張ろう。」とも言ってくれ、その言葉通り、いろいろな課題をあたえられ、ご指導いただきました。

関西に来て32年、神戸で28年、神戸朝日病院に就職して17年、今ではすっかり神戸人だと思っています。これからも神戸市民のため、神戸朝日病院と関わる患者様とそのご家族そして全職員のため、人として、看護師として精進していきたいと思っています。

今後とも宜しくお願い申し上げます。



「クリスマスコンサート」を開催しました

CS向上委員会



●昨年12月9日に当院ロビーにて、入院・外来患者様、地域の方々を対象に、クリスマスコンサートを開催しました。今回は、主に兵庫県下の高齢者施設、学校、病院などで活動されているプロ・アマ混合のボランティアグループ「四季大香」の皆様の楽器演奏と朗読で、大いに盛り上がりました。中でも“ひょうたん笛”の演奏を聴くのはスタッフも含め初めて。中国南西部は雲南省の少数民族の楽器だそうで、2～3本の縦笛がひょうたんに突き刺さったような愛らしい形状もさることながら、あたたかみのあるその音色に魅了されました。

●今年も、このように楽しいイベントや健康な日々を過ごす方法を学んで頂く交流会を、平日の午後3時30分から30分間、1階ロビーにて開催する予定です。参加は、無料、事前申込みも不要です。お時間が許せば、是非ご参加ください。

2017年 健康いきいきサロンの予定

2月	脱水症について
4月	認知症について
6月	肝臓疾患について
7月	七夕コンサート
8月	ロコモティブシンドロームについて
10月	インフルエンザについて
12月	クリスマスコンサート



米とパンのスープ

栄養科主任 土遠 美紀子



●朝は忙しくて、パンと飲み物だけの食事で済ませている人も多いかもしれません。でも、朝食は一日の始まりの食事で、最も大事な食事です。できれば、炭水化物、たんぱく質、野菜（ビタミン類など）がそろった食事にしたいものです。今回紹介するスープにはこれらのものが全部入っています。生野菜が果物をそえて寒い冬の朝食にどうぞ。

■栄養量（1人分）エネルギー：450Kcal、食塩：2.3g

材料（2人分）

ご飯：60g
牛乳：2.5カップ
マッシュルーム：5個
キャベツ：2～3枚（約180g）
鶏もも肉：80g
ブロッコリー：60g
ほぐした硬くなったフランスパン
または食パン：1/2カップ
バター：大さじ2
サラダ油：小さじ1
塩：小さじ1/2
こしょう：適量

作り方

- ①ブロッコリーは小房に分けて下ゆでしておく
- ②マッシュルームは薄切りにして、バター大さじ1/2でさっと炒めて塩、こしょうで味をととのえておく
- ③キャベツはせん切りにしてバター大さじ1/2で炒めておく
- ④鶏肉は塩、こしょうしてからサラダ油で火が通るまで両面こんがり焼き、粗熱がとれてから細かくほぐしておく
- ⑤鍋に牛乳とご飯、②のマッシュルーム、③のキャベツを入れごく弱火で10分くらい煮込む
- ⑥⑤に④の鶏肉とほぐしたパンを加え、さらに10分くらい焦げつかないように煮込む（水分が少なくなっていたら水を加える）
- ⑦①のブロッコリーを加え塩、こしょうで味をととのえ、仕上げにバター大さじ1を落とす



ご理解・ご協力
よろしくお願いします



病院敷地内全面禁煙のお知らせ



当院では、地域の方や、当院をご利用されている方の健康を守ることを、健康増進を図ることをさらに推進するため、平成29年3月1日より、敷地内全面禁煙と致します。

外来を受診される患者さま、入院患者さま、お見舞いに来られる方々には、病院敷地内での喫煙はご遠慮いただきますよう、ご理解とご協力をお願い致します。



編集後記

ある方の言葉に『人生において“成功”は約束されていない。しかし“成長”は約束されている』というのがありました。しかし、頑張らないとその“成長”も約束されません。今年の私のテーマはズバリ『頑張ることはおもしろい!』。以前いた職場でインセンティブのキャッチとして使われていた言葉です。辛く、厳しい仕事も、その中に僅かでも楽しみを見つけながら頑張る、その積み重ねの結果、自分自身、少しでも成長を実感できる、そんな1年にしたいと思います。（文書課 松井 未佳）



認定施設

- 二次救急指定
- 兵庫県肝疾患専門医療機関
- 日本肝臓学会認定施設
- 日本消化器病学会認定施設
- 日本消化器内視鏡学会認定施設
- 日本内科学会教育関連病院
- 臨床研修指定（神戸大協力型）
- 日本医療薬学会研修施設
- 薬物療法専門薬剤師研修施設
- 日本静脈経腸栄養学会認定NST稼働施設
- 日本栄養療法推進協議会NST稼働認定施設

交通のご案内

神戸電鉄「長田駅」より徒歩5分
神戸市営バス ③・⑥・⑪・④⑩・⑪②
「房王寺町5丁目」バス停より徒歩5分

